

① 地域資源活用で何をめざすのか？

市民の意見（懇談会・アンケート、委員会意見など）

■活力・にぎわいアップ

●魅力で人をひきつけるべき

- ・人口減少に対抗した活力あるまちを
⇒ 若者が流出しない・戻る、子育て層がくるまち
- ・財政は危機的。みどりだけでは潤わない。
- ・水とみどり、安全、安心だけで住みやすいか？
- ・若者も集まる興奮と感動、文化・知性のあるまち
- ・魅力をアピールして、人を呼ぶ

●魅力をアピールできれば

- ・人口・企業がひきつけられる
 - ・東久留米の魅力を観光に活かさないか。市外の友人が情報誌を見て、来たがった。
 - ・人が来れば、観光やその他の産業へも経済効果が期待される
→ 飲食・休憩、買物など商業や、おみやげ製造、体験など農工業への波及もあるのでは？
- ※自然（特に希少種）や生活に悪い影響を与えない範囲という配慮を

■市民・子どもの地域に愛着や誇りが醸成し、住みたい・よいまちにと思う人が増える

●住んでいても知らない

- ・勤め人は、市の水やみどりについて知らない
- ・東久留米が魅力ある町であることを、若い人に気づいてほしい
- ・子どもころから住んでいても、資源の存在をしらない

●子どもが地域に愛着を

- ・小さいころから、東久留米の魅力を伝え、感じさせて、子どもが帰ってくるまちに
- ・少子高齢化の中、地道に市民の地元への愛着を形成することが重要

資料2 参照箇所

- ⇒ P1 人口減少、都市の活力の低下を懸念して、イメージアップや、街あるき観光の振興に取り組む自治体が増えてきている
- ⇒ P2 東久留米市はというと…東久留米市は特徴のない都市？、人口・財政面でも懸念が…
- ⇒ P3 市内外から、みどり関連や富士見の景観の評価が高い ⇒ イメージアップとともに、市民の地元の愛着・誇りの情勢に活用したらどう？

② 活用したい・活用すべき地域資源

市民の意見（懇談会等からいただいたもの）

●地域資源を生かす

- ・東久留米は魅力的
- ・水とみどりを生かしたまちおこし
- ・地域観光資源を生かしたまちおこし
（寺社・七福神、自由学園、柳窪の景観、散歩道、富士見の景観）
- ・市内でとれる野菜

など

●文化・芸術施設をつくる

- ・感動と興奮をよぶ施設がない
- ・美術館などをあえて新設
- ・マルシェや交流機能と美術館のコラボ
- ・芸術系大学の誘致・連携

など

資料2 参照箇所

- ⇒ P4 懇談会で指摘された地域資源など
- ⇒ P5 歴史資源と水に関する資源の所在状況 ⇒ 川に沿って、寺社や文化財資源が分布
- ⇒ P6 歴史資源と水 + みどり・水とみどりのネットワークに関する資源の所在状況
- ⇒ P7 歴史資源の観光活用は始まっている 地域での活躍が期待される人々が増える？
- ⇒ P8 農業、ものづくり連携による商品づくりも 観光みやげにつながるのでは？

③ 地域資源活用を進めるために必要なこと

市民の意見（懇談会等からいただいたもの）

●地域資源を生かすために

- ・循環バスなど、足の確保
- ・民間施設も活用
- ・マップづくり
- ・立て札
- ・川辺などにおしゃれな飲食
- ・ガイド など

●実現化方策

- ・市民の参加
- ・行政主導の継続的・横断的な取り組み
- など

●子どもに魅力を伝えるために

- ・水とみどりに関する特徴ある教育を（小学校副読本など）
- ・学校の遠足で東久留米市内の資源をまわり、知るように

資料2 参照箇所

⇒ P9 地域資源と交通

⇒ P1 人口減少、都市の活力の低下を懸念して、イメージアップや、街あるき観光の振興に取り組む自治体が増えてきている マップ作り、体制づくり